



森ボラ 通信

第118号 2012年3月20日発行
NPO法人北海道森林ボランティア協会

URL <http://shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

◆ ホンジュラス共和国でセミナー「日本の防潮林」に参加

● ホンジュラス プンタイソボ国立公園を訪ねて ●

カリブ海に面しテラ湾の東側に位置しているこの国立公園はエコツアーの拠点として有名な所です。熱帯雨林に囲まれプラタノ川から広がった湿地帯が網目のように細い運河で張り巡らされ広大なラグーンを形成している。熱帯植生と野生動物が生息している生物多様性に富んだ国立公園です。交通手段としてはカヤックのみで自然の美しさを破壊することなくそこに生息している生き物に近づく事が出来、我々も現地のガイドの案内でカヤックに乗り込み大自然を満喫しました。

細い運河に入り込むと両サイドにはマングローブが密集しその樹幹からは気根を持った何十本もの枝が水中に垂れ下がって根を形成している。鬱蒼としたジャングルの中カヤックを操りながら奥へ奥へと進んでいくと、ガイドの声で我々には気が付かないさまざまな生き物を見ることが出来ました。水面からチョット顔をだした鰐、流木に捕まって甲羅干しをして居る亀、サギの仲間の鳥や幸運を呼ぶ色鮮やかな紫色をした幻の蝶モルフオを発見、2m程もある蜂の巣、又高い木の上の枝にはイグワナをキャッチ。2時間程の探検は興奮の連続でした。

又、鳴き声のみでその姿は見ることも出来なかったが猿や猛獣で知られているジャガーも居るとのこと。9



月の雨季に入るとカリブ海から移り棲むマナティーも見ることが出来るそうです。

日本では防潮林と云ったら松に代表されますが、こちら熱帯地方ではマングローブと珊瑚礁がその役目を果たしている様で、ハリケーンによる被害を相当コントロールしていると関係者は説明していましたが、今回マングローブ林を真近に見て納得出来たような気がします。

この国立公園の中にはガリフナ族の部落が散在していますが、彼らは15世中盤にスペインがこの地を発見した時にアフリカから労働力として強制移民された黒人達で現在でも外部との接触は少なく観光と漁業で生計を立てているようです。(文・事務局)



■ 現場より

◆ 2月研修・『救急・救命講習』（2月22日13:00～16:00 参加者14名）

講師：（財）札幌市防災協会・救急救命士・岩澤 佳子様他1名

今回は『普通救命講習Ⅰ・3時間コース』を2班に別れて受講しました。

過半数の方が以前に受講経験があましたが初心者のように真剣に取り組んでいました。札幌では6分以内に救急車が現地に到着できるそうですが、当ボランティア協会が活動している場所は市内でもはずれた場所、支笏湖周辺と救急車の基地から離れていてかつ場所を案内するにも目標物が乏しい為、スムーズな救急車誘導が欠かせないと思いました。

講習内容は

- 1 時間目：のどが詰まったときの手当てと出血時の手当ての講習
※のど詰りの原因は餅が一番ですが二番にご飯がきていたのは驚きでした。
- 2 時間目：心肺蘇生法…呼吸の確認、人工呼吸、胸骨圧迫の講習と実習
※胸骨圧迫は初めてのせいがか力が入って強く押しすぎてしまいなれも必要か。
- 3 時間目：心肺蘇生法にAEDを取り入れた講習と実習
※AEDがどこにあったのか、あるのか確認しておく事が大事。

又、今回の講習で感じたことは心肺蘇生を1秒でも早く行うことと救急隊到着まで人工呼吸2回、胸骨圧迫30回を続けることが重要なことを実感しました。それから今回講習と関係はないですが多くが森の中での作業の為、スズメバチと遭遇した時と刺された時の対応を学習しておく必要があると思いました。（文・大窪）



◆ 活動報告・危険木の除去（澄川3月6日・9日）

参加者が少ないために急遽樹木園近辺の整理伐を一時中止して小屋のまわりと駐車場まわりの危険木の除去をしました。

2010年10月末の雪害による枝折れがそのまま樹上にぶら下がっており非常に危険なためです。またツルと雪による枯れ木や30度以上の傾斜木も倒しました。枯れ木でも採餌木は残しています。

これから、かた雪の間に遊歩道沿いの危険木も除去する必要があります。（文・酒井）



■ ひとこま

◆ 2月セミナー・「リンゴ園の作業について」

講師：斉藤林檎園 園主・斉藤 允雄氏（2月20日ラルズビル・参加者18名）

三角山山麓にある斉藤林檎園、当協会が平成16年から作業支援を始め7年になりました。

園主の減農薬（エコファーマー認定、札幌1号）で且つおいしいリンゴ作りへの強い思いが手間隙の掛かる作業になっているように思います。

我々の作業支援は春先の老木処理、花摘み、摘果、葉もぎから秋の収穫までだが他に整枝剪定、租皮削り、農薬散布、土壌づくり等々多くの作業が紹介された。また平成16年の18号台風被害、22年の雪害でそれまでの苦勞が一瞬にして無に帰す話も。

園主から来年も続ける旨の話がありました。リンゴの気持ちは分からないかもしれませんが、リンゴ造りがいかに手間隙が掛かり、値のあることがよく分かります。皆さん、活動に参加してみても如何ですか、リンゴに対する見方が変わりますよ。

(文・釣井)



◆ 2月セミナー・『森と川と海のつながり』

北海道立総合研究機構林業試験場・森林環境部機能グループ主査 長坂 有先生

森と海の関係については、昔から経験的に、森林と魚には深い関係があると言われ、江戸時代には魚付き林が育成されてきた。戦後、約半世紀をかけた襟裳砂漠の植林と漁獲量との関係、ごく最近では、国連のフォレストヒーローズ賞をいただいた畠山重篤氏が主催する「森は海の恋人」と牡蠣の養殖との関係などで漠然と理解していたが、今回、長坂先生には具体的なエビデンスを基に生物の食物連鎖、物質循環を通したつながりについて講演いただきました。

まず、**森から川へ**。川と相互に影響しあう河畔林は年間480 g/M(絶乾)を川に落とし、そのうちの75%が落葉である。落葉自体はあまり栄養がありませんが、菌などの微生物が付くことにより栄養価が高まり様々な生き物に利用され分解していき、

陸生昆虫

落葉・分解物 → カシヅガイ等の貝類 (3月セミナーで受講)

↓

→ 食藻(葉)性昆虫・食虫性昆虫 → **雑食性魚類・食虫性魚類**

の食物連鎖が作られています。サクラマス为例では年間を通して約半分の餌が陸生昆虫であり、水生昆虫を含め河畔林がいかに重要であるか理解できました。

川から海へ。北海道日本海沿岸の小溪流の例では、海に流される有機物は年間163tにのぼり、そのうち最も多いのは溶存有機物で58%、次いで細粒有機物の41%で、残りの落葉を主とした粗粒有機物はわずか1%ですが、これがトンガリキタヨコエビに食べられ、更にクロガシラガレイ稚魚の餌となっていることが判ってきました。



一方で、襟裳の魚介類の水揚げが、植林前の昭和27年の72tから徐々に増え最近では約2,500t近くになってきたのは植林の効果でなく鮭の放流技術の向上によるものだ和我々にショッキングな説を唱える専門家もいるとのこと。

海から川→森へ。栄養は森から海に一方的に流れるのではなく、母川回帰をするサケ・マス類の遡上によって海の栄養が川の上流へ、更に森へと運ばれていることが判ってきました。遡上したサケや死骸のホッチャレがヒグマ、キツネ、オジロワシなどにより森に運ばれるのです。木の成長の比較で年輪の幅が河川近くの木と遠く離れた木とでは1.5倍も違ったり、海洋由来窒素¹⁵N(海にはあるが陸上には無い窒素の安定同位体)の測定で河川に近い木ほど多いとの事実より海の栄養が森の樹木に利用されていることが判ってきました。

今後、海に流された未解明の部分(残りの99%の溶存有機物、細粒有機物)の利用状況の解明、

並びに窒素同位体測定の新技術による解明が進めば、また違った絵が描かれるか楽しみなところ
であります。

最後になりましたが、長坂先生にはご多忙のところご講演いただき有難うございました。

(文・和田)

■ 今月の幹事会

出席者：萩田・樫棒・酒井・佐野・高野・津金・西野(俵)・矢澤・和田

審議および決定事項

- 1 24年4月スケジュール →調整 萩田
- 2 2011年度 決算総会 開催日決定 5月2日 15時30～
- 3 渉外関係対応
- ◎3月16日 平成24年度 森林ボランティア ステップアップ事業に係る打合せ会議
13時30 赤レンガ庁舎 1階5号会議室。出席者：高野
- ◎3月28日 「道新ぶんぶんの森植樹会」打合せ会議
13時 北海道新聞社 9階会議室。出席者：酒井, 市山
- 4 10周年記念事業進行状況・・・樫棒・和田
- ◎出席者名簿作成
- ◎行事内容・出席勧誘等⇒次号森ボラ通信に掲載
- ◎会場整備作業を進める
- 5 委員会報告 広報委員会 (HP 不具合対応 3頁下段のとおり) 業務委員会 (作業計画)
助成委員会 (ローソン2年目、北ガス申請) 研修・企画委員会 (セミナー他)
- 6 平成24年度 札幌市 23年度報告と24年度計画 作成⇒提出→業務委員会・事務局

■ 活動履歴

活動日	行事・活動地	参加数	活動内容
2月20日(月)	セミナー(リンケージプラザ)	18	斉藤リンゴ園の作業 森と川と海のつながり
2月21日(火)	澄川	8	樹木園整理・整理伐
2月22日(水)	講習会(リンケージプラザ)	14	救急救命講習
2月24日(金)	澄川	8	樹木園整理・整理伐
2月28日(火)	澄川	12	樹木園整理・整理伐
3月1日(木)	澄川	7	樹木園整理・整理伐
3月6日(火)	澄川	7	基地周辺整理伐
3月9日(金)	澄川	11	基地周辺整理伐
3月12日(月)	幹事会	9	定例
3月14日(水)	セミナー(リンケージプラザ)	22	道有林の現状 カワシンジュ貝の話
3月16日(金)	澄川	8	整理伐

◆ ホームページPDF 閲覧ページのトラブルについて(2012年3月6日付)

Internet Explorer Ver. 6及び7で正しく表示されていないことが判明。Windows XP以前で使用の、
ホームページViewの画面で正しく表示されない画面となっています。2月下旬からの現象と思われま
す。Internet Explorer Ver. 8を使用すると解消します。詳細はホームページでご確認下さい。

(文・広報委員会)